

6月2日(火曜日)「主に身を避ける幸い」

【新改訳 2017】

詩篇 2・1－12

「……幸いなことよ。すべて主に身に避ける人は。」(12節)

ここでは、「主に身を避ける人は幸いである」と強調されています。この「幸いなことよ」は、ヘブル語でアシュレーという語で、実は「祝福されている」という意味にも訳される語です。この詩篇の要点はこうです。

1－3節は、この世の王たちや国民が主と主が油注がれた者に逆らう事実について。4－9節は、その事実に対する主なる神の見方と対応について(ここにメシヤ預言も含まれています。)10－12節は、世の王たちは警告を述べ、結びに、幸いへの

勧めが記されています。

人と人の争いも、国と国との争いも絶えません。「血肉の争い」ということばもあります。真の安全や平安はどこにも見当たりません。しかし、主なる神に身を避ける者は本当に幸いです。筆者も若いころ人生に悩み、不安と挫折の中で主に身を避けて救われ、人生が変わりました。ハレルヤ。

～祈り～

主よ。あなたの一方的かつ十分な恵みを感謝します。どうかあなたに身を避け、この幸いを一人でも多くの人を得ることができるよう。

【学びのために】

詩篇の日課の読み方。まず冒頭の聖句を読みます。そして、解説を考えながら読んでください。そのあともう一度、最初の聖

句を読んで、それからお祈りをしたらよい
でしょう。きっと御霊の助けがあり、恵ま
れると信じます。聖書でその詩篇全体を
読むとなおよいと思います。